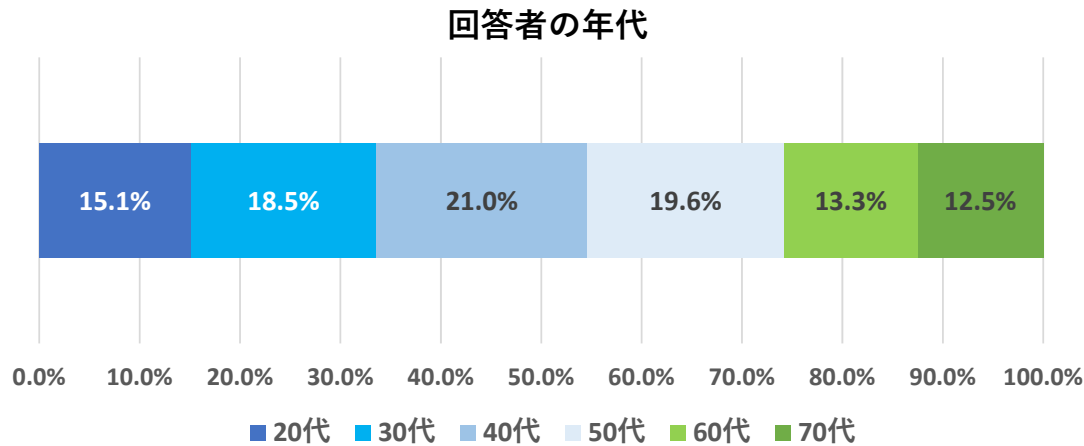
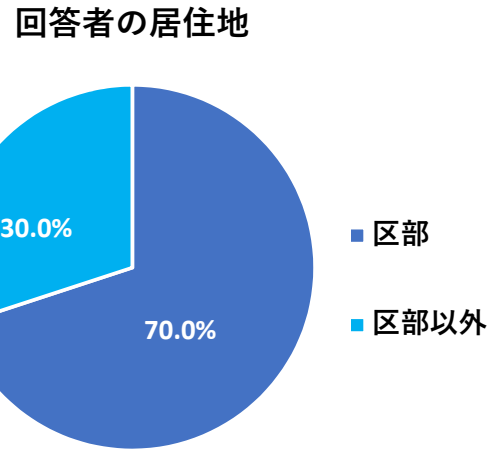
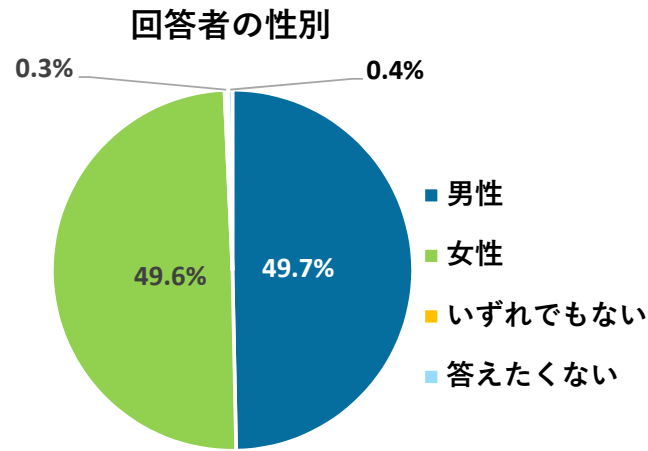


# 東京iCDCリスコミチームによる 都民アンケート調査結果（2023年2月実施）

- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：東京都に住所を有する20代から70代までの者
- サンプル方法およびサンプル数：
  - ・ 性別・年齢構成・居住地を東京都の人口比率に合わせた割当抽出
  - ・ **10,429 サンプル**
- 調査期間：2023年2月15日（水）～2月21日（火）……1週間
- 調査項目：
  - 新型コロナに関する気持ちや経験
  - 新型コロナについての備え
  - 類型変更後（5月8日以降）の行動・感染対策
  - 今後のマスク着用意向・理由、基本的感染対策 など

# 有効回収票についての基本属性

有効回収票 n = 10,429



### 回答者の職業 (単位 %)

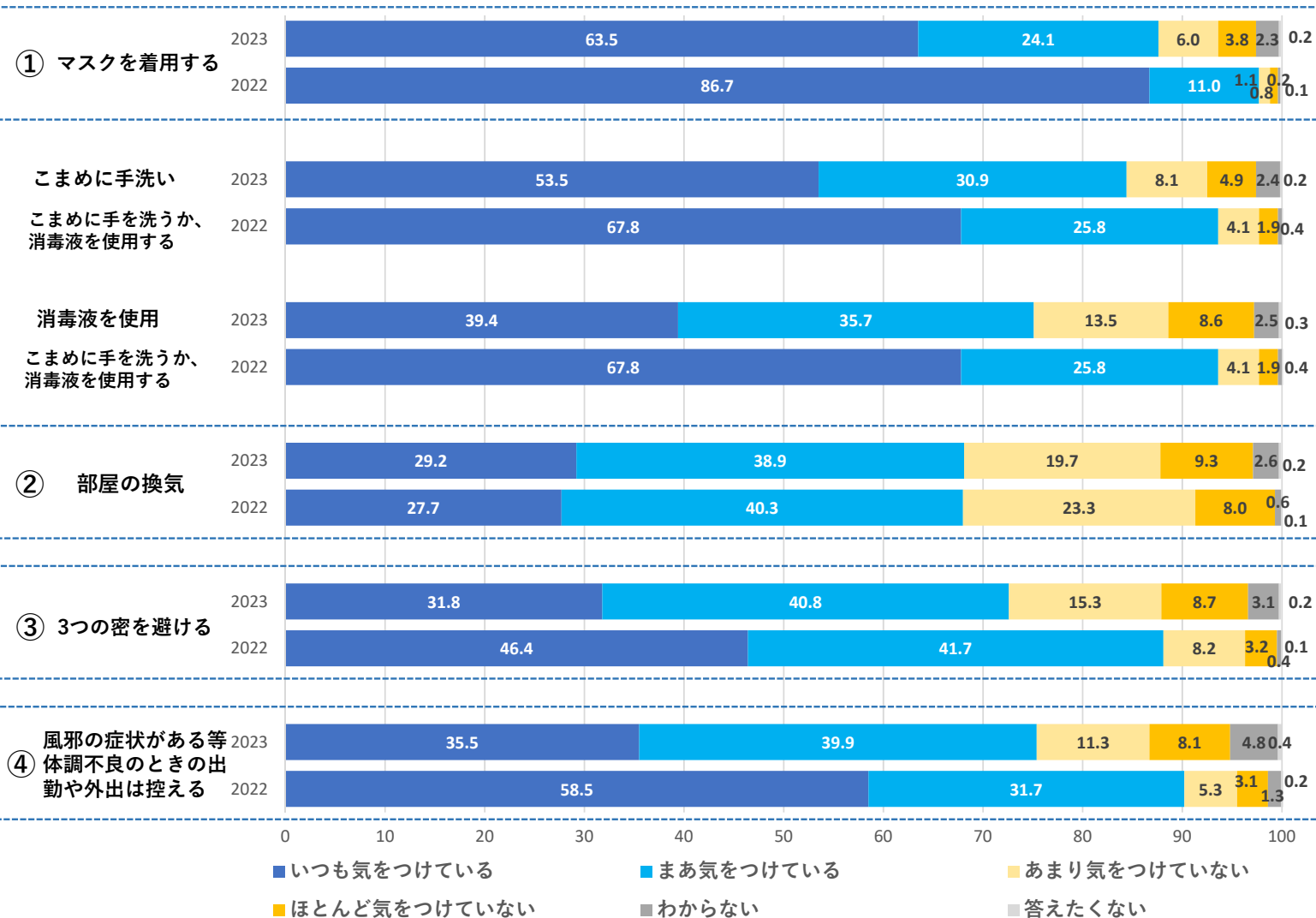
管理的職業従事者	8.4
専門的・技術的職業従事者	13.9
事務従事者	19.0
販売従事者	3.9
サービス職業従事者	10.8
保安職業従事者	0.7
農林漁業従事者	0.1
生産工程従事者	1.5
輸送・機械運転従事者	0.9
建設・採掘従事者	0.8
運搬・清掃・包装等従事者	1.8
分類不能の職業	3.6
専業主婦・主夫	13.9
学生	2.4
無職	13.4
答えたくない	4.9
<b>全体</b>	<b>100.0</b>

※本調査結果の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計をしても必ずしも100とはならない。

# 新型コロナの対策について、現在（2月中旬時点）のあなたにあてはまるものをそれぞれひとつずつ選んで下さい。

(2023年：n=10,429) (2022年：n=10,000)

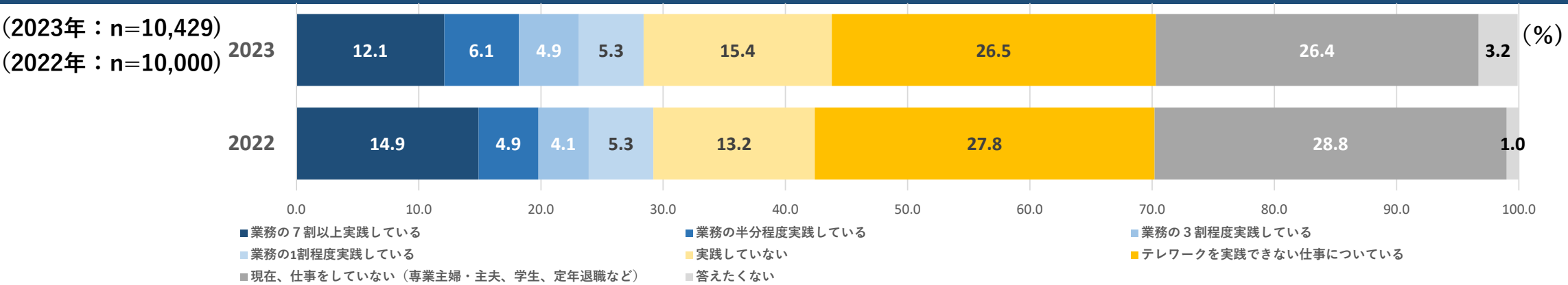
(%)



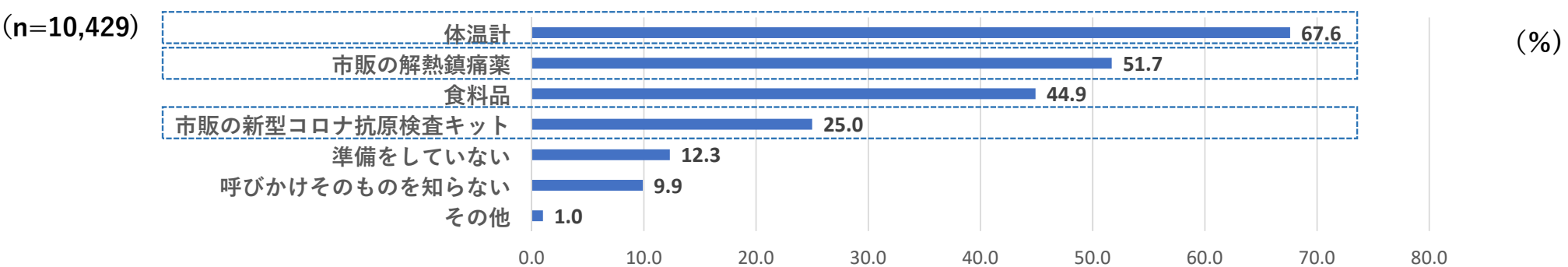
新型コロナの流行から約3年が経過し、5類への移行が示された後の**2023年2月中旬時点**においても、**多くの都民が感染防止対策に気をつけていることが伺える。**

- ① 「マスクを着用する」については、「いつも/まあ気をつけている」と回答した割合は**約90%**となっている。なお「いつも気をつけている」の割合は、**昨年3月の調査結果と比較すると約20%減少。**
- ② 「部屋の換気」については、「いつも/まあ気をつけている」と回答した割合は**約70%**と**昨年3月の調査結果と同程度。**
- ③ 「3つの密を避ける」については、「いつも/まあ気をつけている」と回答した割合は**約70%**となっている。なお「いつも気をつけている」の割合は**昨年3月の調査結果と比較すると約15%減少。**
- ④ 「体調不良のときの出勤や外出は控える」については、「いつも/まあ気をつけている」と回答した割合は**約75%**。なお「いつも気をつけている」の割合は**昨年3月の調査結果と比較すると約20%減少。**

お仕事をされている方で、この1ヶ月、あなたは、テレワークをどれくらい実践しましたか。  
あてはまるものをひとつ選んで下さい。



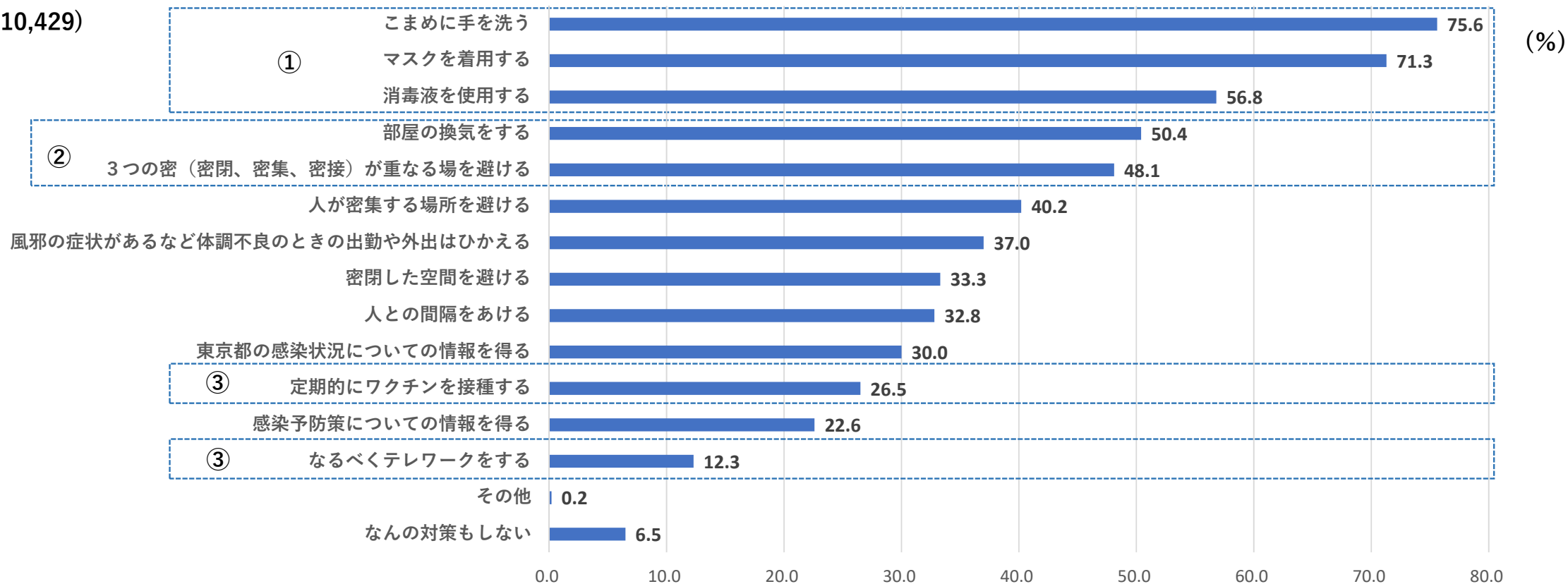
東京都では、新型コロナウイルス感染症に備え、検査キット、薬、食料品などの準備をしておくよう、呼びかけをしています。ご自身で準備しているもの全てを選んで下さい。



- ◆ テレワークを実践（調査実施時点）している人は約30%であり、昨年3月調査結果と同程度。  
（ただし、「テレワークを実践できない仕事についている」、「現在、仕事をしていない」人の回答割合を除いた場合は約60%）
- ◆ 新型コロナウイルス感染症への備えとしては、「体温計」を準備している人の割合が約70%、「市販の解熱鎮痛剤」を準備している人の割合が約50%。また、「市販の新型コロナ抗原検査キット」を準備している人の割合は25%。

# あなた自身が2023年5月8日以降も続けようと思う対策はどれですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

(n=10,429)



① 多くの人が5月8日の類型変更後も「こまめに手を洗う」、「マスクを着用する」、「消毒液を使用する」といった基本的な感染防止対策を続ける意向であることが伺える。

② 「部屋の換気」や「三密回避」については、継続意向の割合が**50%程度**となっている。

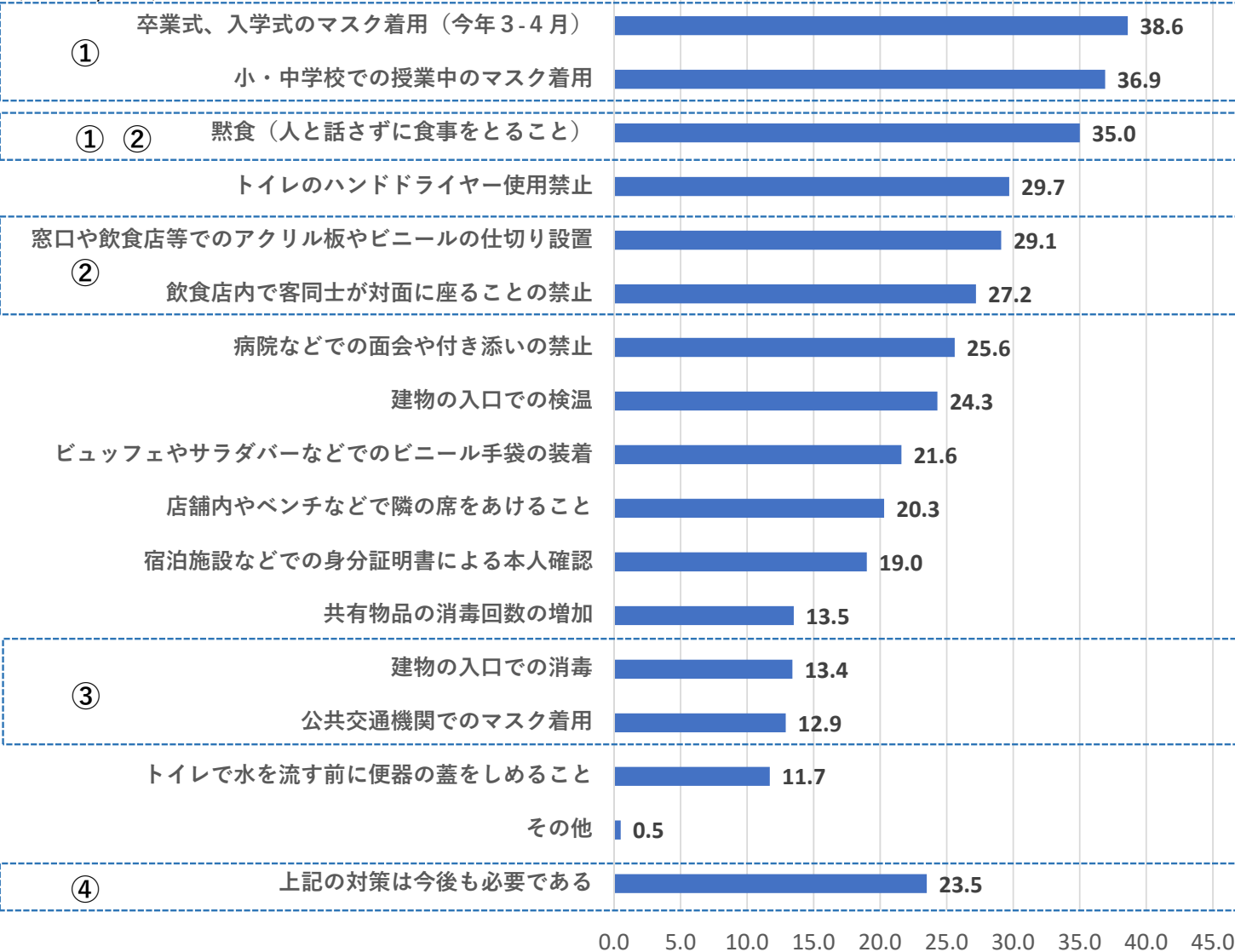
③ 「定期的なワクチン接種」や「テレワーク」については、継続する意向は低くなっている。

(テレワークについては、「現在仕事をしていない」・「テレワークができない職種」を除いた回答者のうち**約25%**が継続意向)

# もうやめたほうがよいと思う感染対策は何ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

(n=10,429)

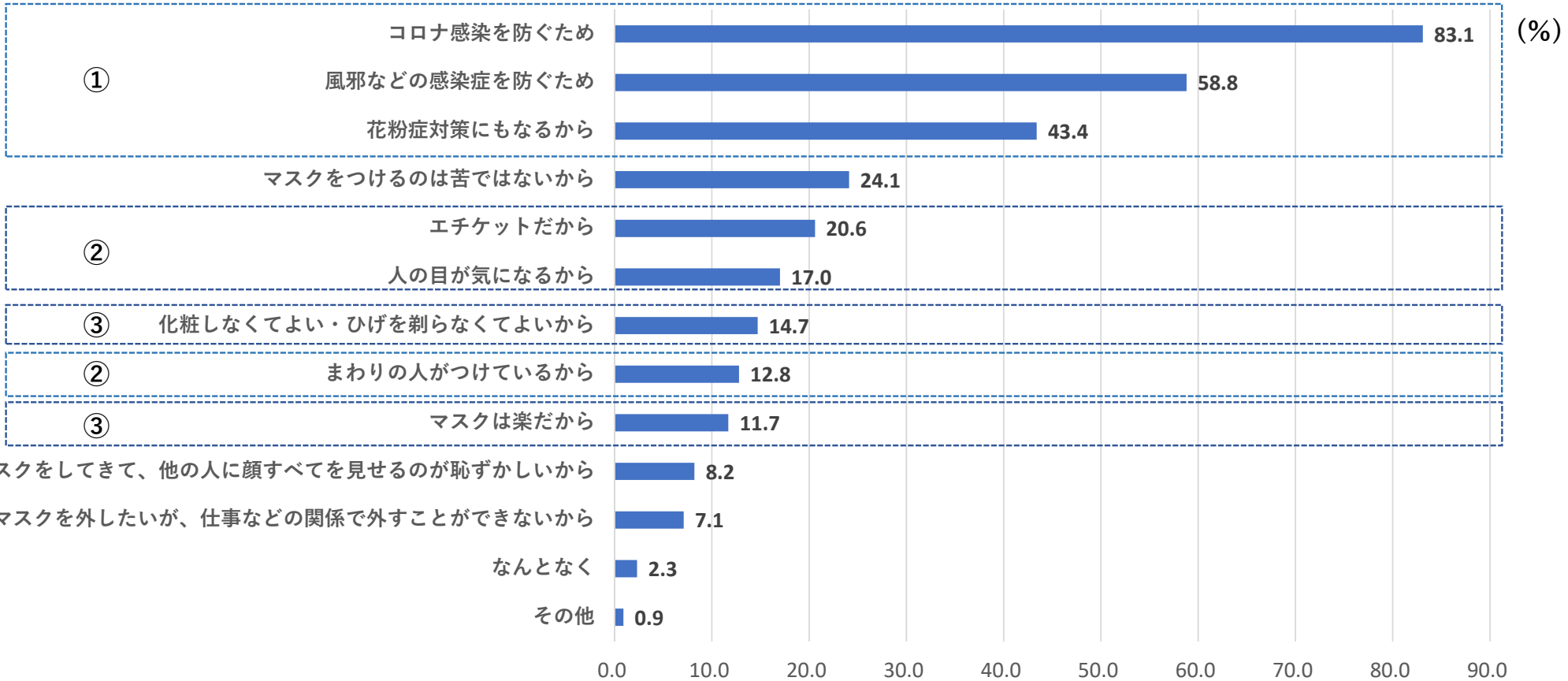
(%)



- ① 「卒業式、入学式のマスク着用」、「授業中のマスク着用」、「黙食」については、**35%以上**の人が「もうやめたほうがよい」と回答。  
**子どもたちの生活を制限する対策の緩和を望む声**が大きいと考えられる。
- ② 飲食の場に関して、「黙食」、「窓口や飲食店等でのアクリル板やビニールの仕切り設置」、「飲食店で客同士が対面に座ることの禁止」についても**30%程度**の人が「もうやめたほうがよい」と回答。
- ③ 「建物の入口での消毒」や「公共交通機関でのマスク着用」については、「もうやめたほうがよい」と考えている人の割合は**10%程度**。
- ④ 一方、**20%以上**の人が「上記の対策は今後も必要である」と回答。

今後も「マスクを着用する」と答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。  
あてはまるものをすべて選んで下さい。

(n=7,437)

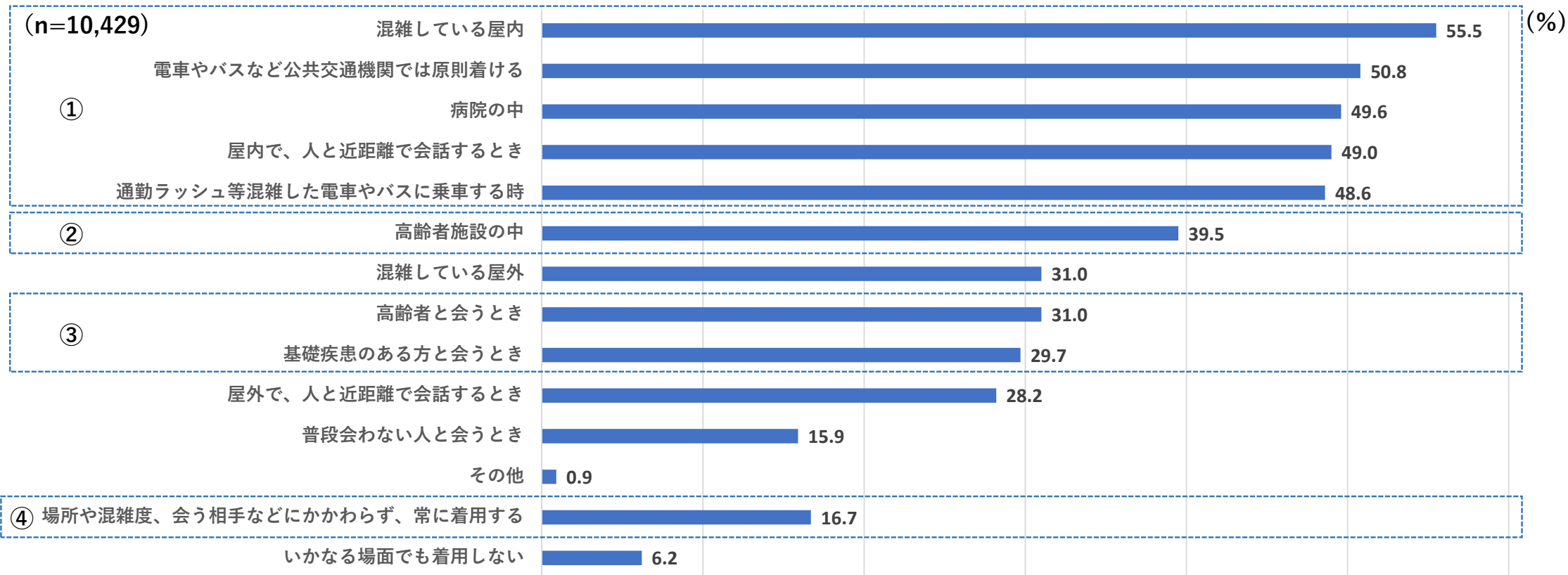


① 今後も「マスクを着用する」と回答した人の理由としては、「コロナ感染を防ぐため」の回答割合が約85%、「風邪などの感染症を防ぐため」が約60%、「花粉症対策にもなるから」が約45%と、健康を守る対策としての着用が多い。

② 「エチケットだから」の回答割合は約20%、「人の目が気になるから」は約15%、「まわりの人がつけているから」は約15%となっている。

③ 「化粧しなくてよい・ひげを剃らなくてよいから」の回答割合は約15%、「マスクは楽だから」は約10%となっている。

# マスク着用について、さらに詳しくお伺いします。あなたが今後もマスクを着けようと思うのはどのような場面ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。



① マスク着用の場面としては、「混雑している屋内」、「公共交通機関」、「病院の中」、「屋内で、人と近距離で会話するとき」、「通勤ラッシュ等混雑した電車やバス」の回答割合が**50%前後**。

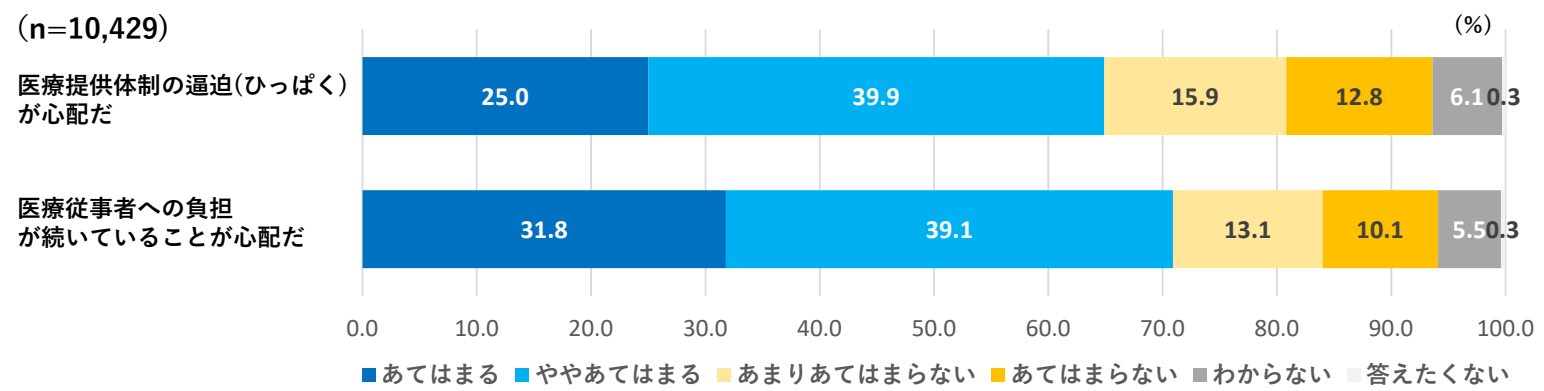
② 「高齢者施設の中」の回答割合は**約40%**。

③ 「高齢者と会うとき」、「基礎疾患のある方と会うとき」の回答割合は**30%前後**。

④ 「常に着用する」と回答した人 (**16.7%**) を上記の①、②、③に加えると、マスク着用の割合は**①が70%前後、②が約55%、③が約45%**。



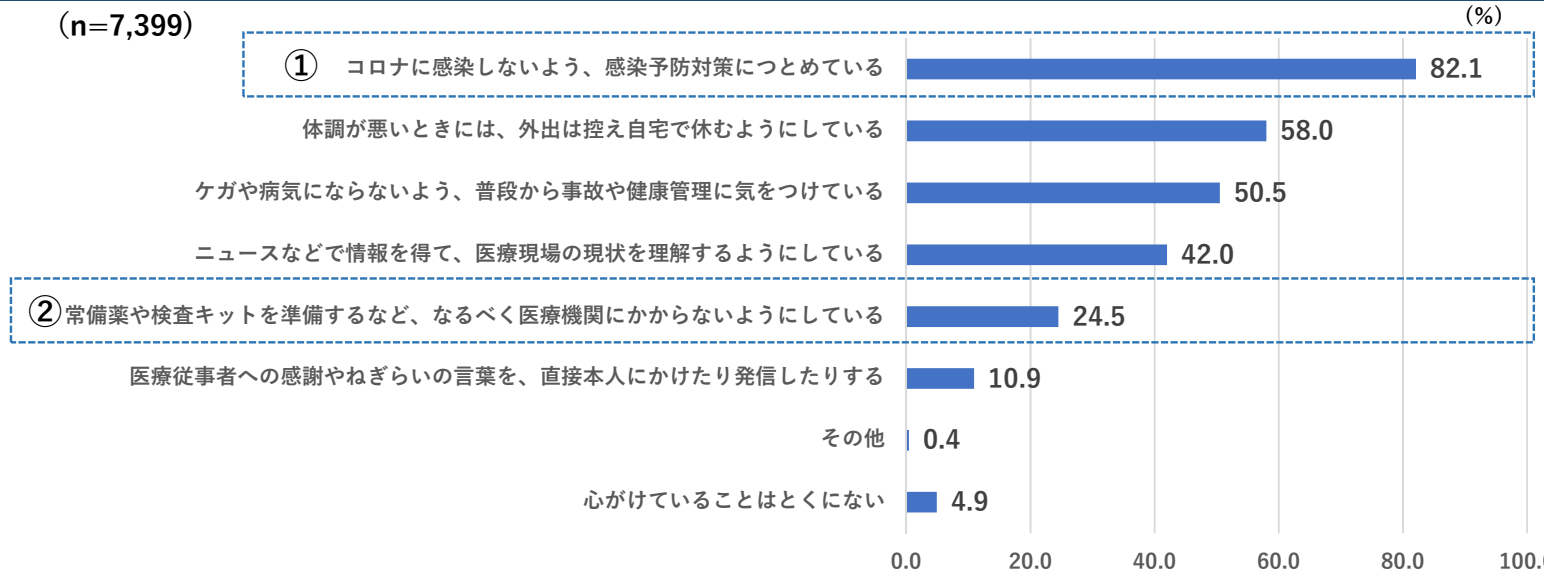
# 医療提供体制や医療従事者への負担に対するあなたの気持ち（『新型コロナに関してあなたの気持ちにあてはまるもの』から抜粋）



◆ 新型コロナに関して「医療提供体制の逼迫（ひっぱく）が心配だ」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は約**65%**。

◆ 「医療従事者への負担が続いていることが心配だ」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は約**70%**。

「医療従事者への負担が続いていることが心配だ」で「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた方にお伺いします。  
では、負担を減らすためにあなたが心がけていることは何ですか。



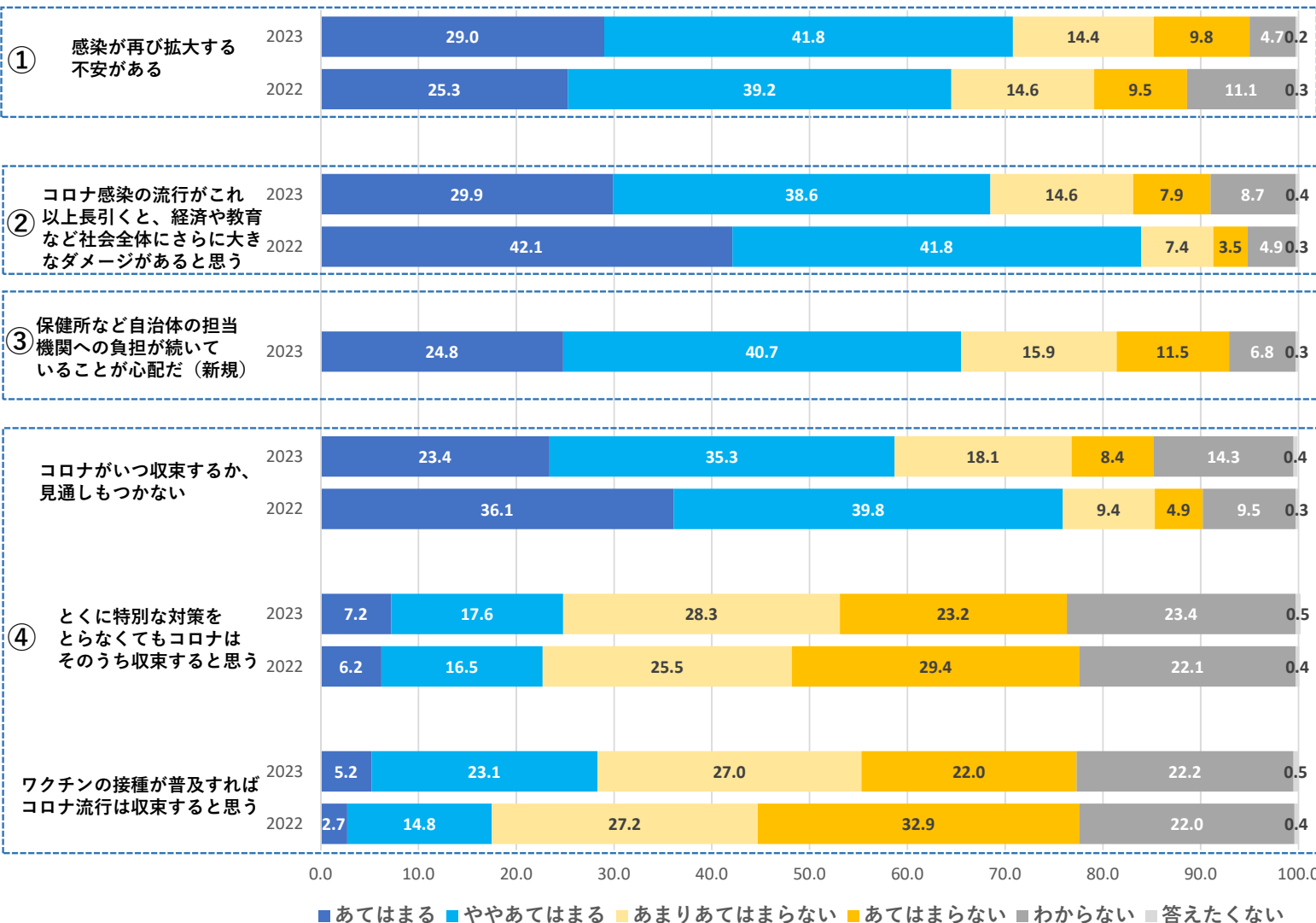
① 「コロナに感染しないよう、感染予防対策につとめている」と回答した人の割合は約**80%**。

② 「常備薬や検査キットを準備するなど、なるべく医療機関にかからないようにしている」と回答した人の割合は約**25%**。

# 新型コロナに関して、あなたの気持ちにあてはまるものをそれぞれひとつずつ選んで下さい。

(2023年：n=10,429) (2022年：n=10,000)

(%)



① 「感染が再び拡大する不安がある」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は約70%。(昨年3月調査より約6%増加)

② 「感染の流行がこれ以上長引くと、経済や教育など社会全体にさらに大きなダメージがあると思う」と回答した人の割合は約70%。(昨年3月調査より約15%減少)

③ 「保健所など自治体の担当機関への負担が続いていることが心配だ」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は約65%。

④ 「コロナがいつ収束するか見通しもつかない」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は約60%であり、昨年3月調査の結果から約15%減少。

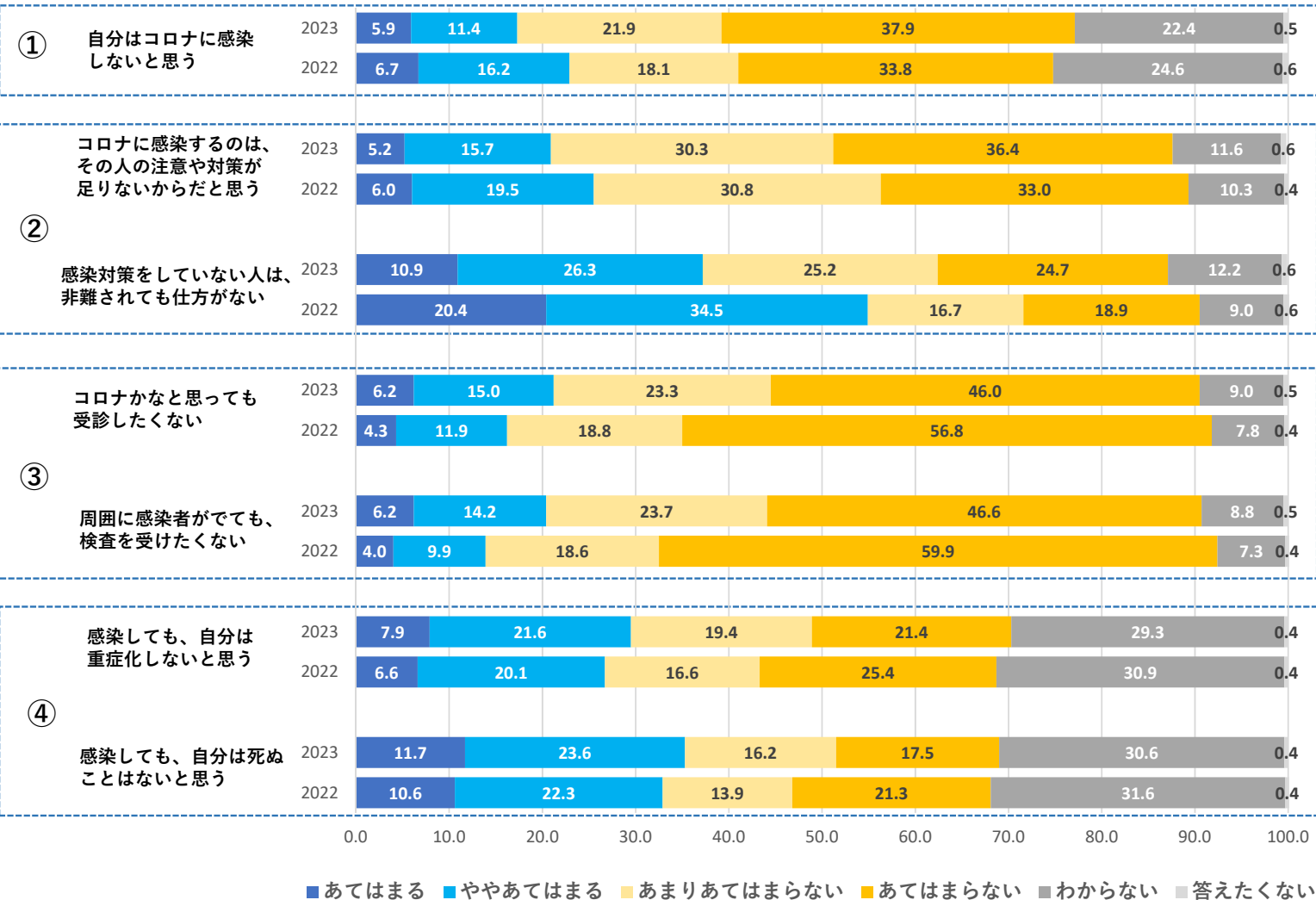
「とくに特別な対策をとらなくてもコロナはそのうち収束すると思う」に「あてはまる/ややあてはまる」とする割合は約25%(昨年3月調査と同程度)。

「ワクチンの接種が普及すればコロナ流行は収束すると思う」と回答した人の割合は約30%と、昨年3月調査より約10%増加。

# 新型コロナに関して、あなたの気持ちにあてはまるものをそれぞれひとつずつ選んで下さい。

(2023年：n=10,429) (2022年：n=10,000)

(%)



①「自分はコロナに感染しないと思う」と回答した人の割合は約15%となっており、昨年3月調査から約5%減少。

②「コロナに感染するのは、その人の注意や対策が足りないからだと思う」と考える人の割合は約20%であり、昨年3月調査から約5%減少。

「感染対策をしていない人は、非難されても仕方がない」とする人の割合は約35%であり、昨年3月調査の結果から15%以上減少。

③「コロナかなと思っても受診したくない」、「周囲に感染者がいても、検査を受けたくない」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は約20%で、昨年3月調査からは5%程度増加。

④「自分は重症化しないと思う」や「自分は死ぬことはないと思う」に「あてはまる/ややあてはまる」と回答した人の割合は、それぞれ約30%、約35%であり、昨年3月調査から微増。